

# 令和8年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：27507

学校名：前田小学校

|                      | 令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果   |  | 分析   |
|----------------------|---|--|--|
| 体力・運動能力<br><男子>      | ○全国の記録と比べ、同程度・上回った種目<br>握力、上体起こし、反復横とび、立ち幅とび<br>20mシャトルラン、ソフトボール投げ                          | ○全国の記録と比べ、下回った種目<br>長座体前屈、50m走   | 男子は休み時間や習い事などで体を動かす習慣がある子が多いことから、日々の生活の中で体力づくりが自然とできていることが伺える。反面、柔軟性が低いのが力の加減ができず、けがも多い。 |
| 体力・運動能力<br><女子>      | ○全国の記録と比べ、同程度・上回った種目<br>握力、反復横跳び、20mシャトルラン<br>50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ                           | ○全国の記録と比べ、下回った種目<br>上体起こし、長座体前屈  | 女子は休み時間や習い事などで体を動かす習慣がある子が多いことから、日々の生活の中で体力づくりが自然とできていることが伺える。反面、柔軟性が低く、動きが固い面がある。       |
| 運動・スポーツへの意識、<br>運動習慣 | 「運動やスポーツをすることが好き」「体育の授業は楽しい」と回答する子どもの割合(平均)<br>R6 男子:95.1% 女子:94.7%<br>R7 男子:75.3% 女子:67.4% | 体育の授業を除く1週間の総運動時間 曜日別時間の平均<br>R7 月～金 男子:51分 女子:41分<br>土・日 男子:123分 女子:65分 | 運動習慣が身に付いていない子や運動することに消極的な子には、具体的な取組の効果が表れにくいですが、運動やスポーツに関して前向きに捉えている子の方が多い。             |

| 三つの取組 | ①+体育・保健体育等の授業の充実 | ②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組 | ③子どもが自ら健康の保持増進を図る取組 |
|-------|------------------|-----------------------|---------------------|
|-------|------------------|-----------------------|---------------------|

|        |  |   |  |
|--------|--|---|--|
| 具体的な取組 | ○目標に向けて挑戦する意識の醸成<br>・アスリート講師として縄跳びのインストラクターを派遣し、単元の導入などに活用する。<br>・主運動につながる準備運動を設定しながら、単元の特性や楽しさを捉え、達成に向けてじっくり取り組むことができるよう運動量や時間を確保する。<br>・授業の振り返りを通して自身の伸びに気づき、確認していくことで運動意欲向上を図る。<br>・準備運動で「わらびくす」をはじめ、縄跳び運動などを取り入れ、全身の運動感覚のバランスを整える。 | ○児童が目標に向かって自主的に運動することができる環境整備。<br>・委員会活動と連携し「前小ジャンプ」（大縄8の字跳び）の取組を行う。全校で目標を掲げ、みんなで力を合わせて達成する仕組みにする。<br>・チビユニティからプロダンサーを派遣し、中休みに全校でダンスレッスンの機会を設ける。<br>・子どもたちが主体となって様々な運動を選んで取り組めるようドッジボールやドッジビー、長縄、ダブルダッチ用ロープ、マーカーを各学級に配付する。<br>・夏季期間にはバスケットゴール・ラダーライン・ドッジボールコートなど日常的に体を動かせる仕掛けの設置・活用法を紹介する。冬季期間には、大谷グローブを活用したストラックアウト・ポッチャができるエリアを多目的室に設置する。 | ○健康の保持促進への意欲向上に向けた指導の充実<br>・食に関する日常的な指導及び各学年の実態に合わせた授業を通して、食に興味をもち、健康な体づくりの取組を行う。<br>・助産師の外部講師を活用し、命の大切さについて考える機会を設ける。<br>・保健に関する指導を各学年の児童の実態に応じて編成し、日常生活に結び付ける。<br>・基本的な生活習慣の定着に向けた家庭への啓発・・・「運動」「食事」「基本的な生活習慣」の定着、さっぽろっ子「学び」のススメの活用 |
|--------|--|---|--|

家庭・地域との連携・協働

○学校でどんな運動や遊びが行われているか、お便りやホームページ等で紹介する。  
○長期休業中にも進んで運動ができるよう、めあてもって取り組んだり、続けたりすることのできる活動を提案する。  
○運動や遊びの楽しさをさらに深く感じられるよう、出前授業等での指導補助を取り入れる。

